

# 目指すは全コース制覇! 発見満載!

## 龍馬誕生コース①

歩行距離約1.7km  
約90分

坂本龍馬は、天保6年(1835年)11月15日、高知市上町に生まれました。このコースは、龍馬の誕生地や龍馬が剣術修行に通った日根野道場跡、亀山社中のメンバーだった近藤長次郎邸跡などを巡ります。

- (展示館ガイド) 龍馬の生まれたまち記念館
- 水通川
  - 坂本龍馬誕生地
  - 秋葉神社
  - 魚の棚
  - 龍馬郵便局
  - 水丁場
  - 日根野道場跡
  - 河田小龍寓居跡
  - 水天宮
  - 近藤長次郎邸跡
  - 才谷屋跡
  - 龍馬の生まれたまち記念館

## 龍馬誕生ミニコース②

歩行距離約1.0km  
約60分

上記「龍馬誕生コース」をコンパクトにしたミニコースです(龍馬誕生コースの水丁場~水天宮は含まれません)。高齢の方や小さいお子さん連れの方、時間があまり取れない方など向けのコース設定です。

- (展示館ガイド) 龍馬の生まれたまち記念館
- 水通川
  - 坂本龍馬誕生地
  - 秋葉神社
  - 魚の棚
  - 龍馬郵便局
  - 近藤長次郎邸跡
  - 才谷屋跡
  - 龍馬の生まれたまち記念館

## 龍馬ゆかりの地コース③

歩行距離約3km  
約120分  
別途電車代(大人200円)が必要

龍馬と行動をとともにした近藤長次郎。龍馬初恋の人といわれる平井加尾やその兄収二郎。このコースは、龍馬の青春時代の史跡を巡ります。また坂本家の人々が眠る坂本家墓所も巡ります。

- (展示館ガイド) 龍馬の生まれたまち記念館
- 坂本龍馬誕生地
  - 近藤長次郎邸跡
  - 才谷屋跡
  - 池内蔵太郎跡望月兄弟邸跡
  - 永福寺
  - 植木枝盛誕生地
  - 平井収二郎の墓
  - 坂本家墓所
  - 徳弘斎邸跡
  - 平井収二郎加尾誕生地
  - 龍馬の生まれたまち記念館

## 半平太・はりまや橋コース④

歩行距離約2.7km  
約120分  
別途電車代(大人200円)が必要

武市半平太(瑞山)は文政12年(1829年)9月、高知市仁井田吹井に生まれました。半平太は尊王攘夷を掲げ、土佐勤王党を結成しました。このコースは、半平太や半平太と深いかわりのあった吉田東洋の史跡などを巡ります。

- (展示館ガイド) 龍馬の生まれたまち記念館
- 坂本龍馬誕生地
  - 吉田東洋邸跡
  - 得月楼
  - 河田小龍誕生地
  - 長岡謙吉顕彰碑
  - 武市半平太(道場跡)の碑
  - 西郷宿舎木屋跡
  - 高知よさこい情報交流館
  - はりまや橋
  - 吉田東洋殉難の地碑
  - 武市半平太殉節の地碑
  - ひろめ市場

## 大政奉還コース⑤

歩行距離約2.6km  
約120分

大政奉還を遂げた幕末の四賢侯の一人山内容堂と西郷隆盛の会見の地や、大政奉還に道筋をつけた後藤象二郎誕生の地を巡ります。日曜日、街路市に立ち寄ることもできます。

- (展示館ガイド) 龍馬の生まれたまち記念館
- 坂本龍馬誕生地
  - 山内容堂像
  - 山内容堂邸跡
  - 容堂西郷会見の地(此君亭)
  - 旧山内家下屋敷長屋
  - 後藤象二郎誕生地
  - 板垣退助誕生地
  - 日曜日(日曜日のみ)山内容堂誕生地
  - 山内容堂誕生地
  - 高知城歴史博物館

## NEW 自由民権150年コース⑥

歩行距離約3.0km  
約120分

令和6年(2024年)は民権院設立建白・立志社創立より150年です。「自由は土佐の山間より」の石碑など、近代日本の政治史に大きな役割を果たした土佐の自由民権運動発祥の地を巡ります。

- (展示館ガイド) 龍馬の生まれたまち記念館
- 坂本龍馬誕生地
  - 嶽洋社跡
  - 河野敏謙誕生地
  - 婦人参政権発祥の地
  - 織田歯科医院
  - 福岡孝弟誕生地
  - 片岡健吉の銅像
  - 板垣退助像
  - 後藤象二郎誕生地
  - 板垣退助誕生地
  - 片岡健吉誕生地
  - 立志社跡



### C 坂本龍馬誕生地



坂本龍馬は、天保6年(1835年)11月15日、郷士・坂本長兵衛(八平)直足と幸の次男として、この地で誕生しました。毎年11月15日には、記念碑の前で龍馬誕生祭が盛大に行われています。

### D 婦人参政権発祥の地



自由民権運動の高まりの中で明治11(1878)年に「民権ばあさん」楠瀬喜多が男女同権による女性の選挙権を主張して運動を展開。その後の区会議員選挙で女性参政権が認められ、日本における婦人参政権の先駆けとなった。

### E 山内容堂像



土佐藩15代藩主山内容堂の銅像。(1878年)に高知城二ノ丸に設置されたが、昭和19年(1944年)に供出された。その後、18代当主山内豊秋氏が再建を計画し、平成14年(2002年)に現在地に完成した。

### F 旧山内家下屋敷長屋



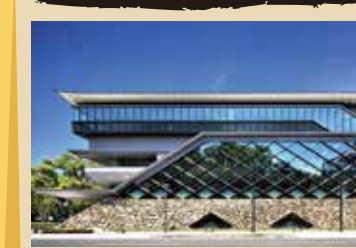
幕末に建てられた山内家の足軽屋敷。国の重要文化財にも指定されている本格的な武家長屋で、全国的にも数少ない建物である。藩政後期の土佐藩士や庶民の生活を知ることが出来る用具や和舟などが展示されている。

### G 高知城



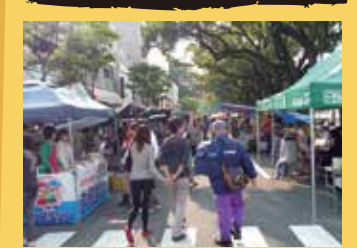
関ヶ原戦の功績により徳川家康から土佐一国を拝領した初代土佐藩主山内一豊とその妻千代が礎を築いた、土佐二十四万石の歴史ある城。江戸時代より南海道随一の名城として知られ、三層六階の天守や追手門などの建物は国の重要文化財となっており、日本100名城にも指定されている。

### H 高知城歴史博物館



国宝や重要文化財を含め、約6万7千点に及ぶ土佐藩主山内家伝来の歴史資料などを中心に、土佐藩・高知ゆかりの資料の数々を収蔵・展示する博物館。

### I 日曜日



元禄3年(1690年)誕生の歴史がある。毎週日曜日、高知城から東へ約1kmにわたり約300の露店が軒を連ねる、日本一の規模を誇る青空市である。とれたての野菜や果物・海産物・植木・骨董などが並んでいる。

### J 武市半平太(道場)跡



武市半平太(瑞山)は安政2年(1855年)に妻の叔父島村寿之助と共同で道場を開いた。門人は120人ほどいたとされ、中岡慎太郎や岡田以蔵なども通っていた。

◆電車代・バス代・施設入場料は令和6年2月時点の料金です。  
◆天候等の状況により、ルートや紹介場所が変更になる場合があります。  
👉 指差しでの紹介 🚶 電車移動(料金は参加者負担)